

**痛風**  
だけじゃない！

# 高尿酸血症にご用心

尿酸値が **7.0mg/dL** を超えたら「**高尿酸血症**」と呼びます。  
今は何の自覚症状がなくても、高尿酸血症の背後にはさまざまな病気がひそんでいます。

**尿酸値「7.0mg/dL」を超えたら黄信号**

あなたの尿酸値は？

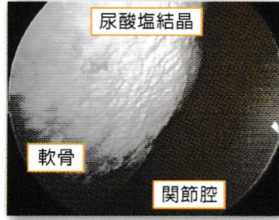
mg/dL

## 高尿酸血症は痛風発作や腎障害の予備軍

尿酸値が 7.0mg/dL を超える「高尿酸血症」の状態が続くと、尿酸の結晶が体のあちこちに沈着し始めます。これを放置しておくと、激痛で知られる「痛風発作」をはじめとするさまざまな症状を引き起こします（右図）。



尿酸の結晶

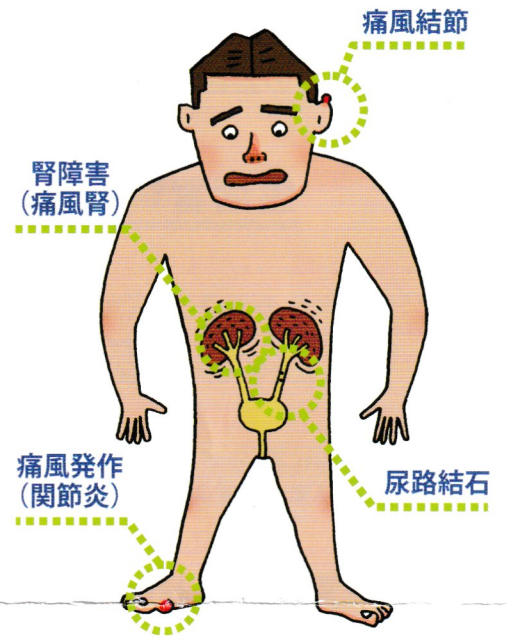


Baker JF et al.: Arthritis Rheum 62: 895, 2010

関節に溜まった尿酸の結晶

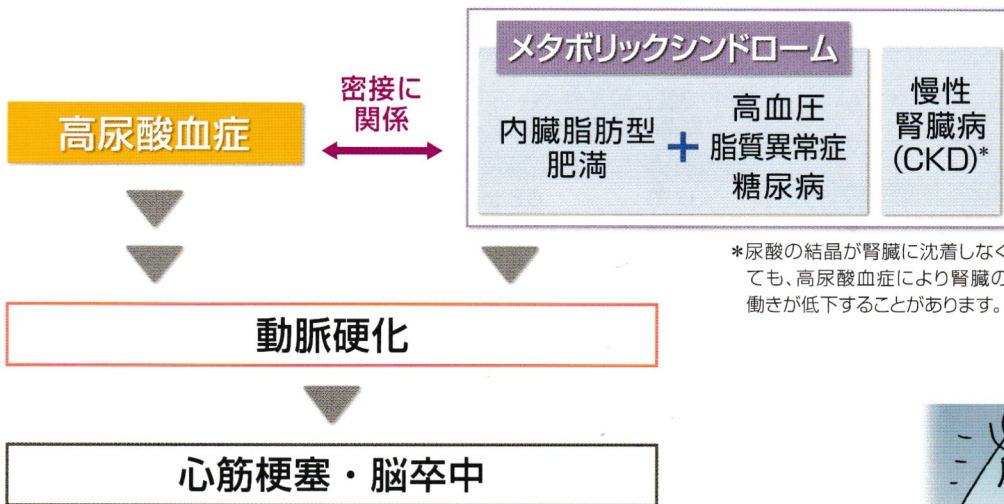


痛風関節炎（痛風発作）



## 高尿酸血症の本当の怖さは合併症 生活習慣病や慢性腎臓病を合併しやすく、動脈硬化が進行することも

尿酸値が高い人（高尿酸血症）は高血圧や脂質異常症（高脂血症）、糖尿病などの生活習慣病や慢性腎臓病（CKD）\*を合併しやすいことがわかってきました。高尿酸血症はこれらの疾患と密接に関係し、放置しておくと動脈硬化を進行させ、心筋梗塞や脳卒中を起こすリスクを高めるといわれています。



\*尿酸の結晶が腎臓に沈着しなくても、高尿酸血症により腎臓の動きが低下することがあります。

**Check!**

尿酸値＝痛風というイメージがありますが、高尿酸血症では、水面下に隠れてみえない重大な合併症に注意することが大切です。

